

算命学中庸

【初年】 3 2 回目

3 2 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【十大主星特性④】

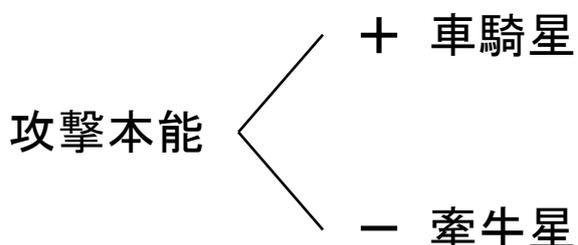
参考：特性〔そのものが他と異なって特に備えもつ特有の性質〕

・【初年】 3 2 回目 【十大主星特性④】 01

➡ 車騎星・牽牛星

しゃきせい けんぎゅうせい
車騎星・牽牛星は攻撃本能の星です。

攻撃本能にも、陽の攻撃の星・陰の攻撃の星があります。



⇒ 攻撃本能を“攻撃する本能”として、思考をめぐらすとわかりにくくなってしまふことが多いのです。

そこで攻撃本能を“**行動の本能**”というふうに、言葉を置き換えるとよいでしょう。

算命学では攻撃本能を“**行動の本能**”でもある。このように考えています。

“行動”ということ考えてみると、なにかをするときに〔陽の行動〕と〔陰の行動〕があります。

それは〔主体性のある行動〕と〔主体性のない行動〕です。

陰と陽では、主体性のあるほうが（陽）になりますから、

〔たとえば〕個人行動と集団行動では、どちらのほうが自分の主体性が発揮できるのかといえは個人行動です。

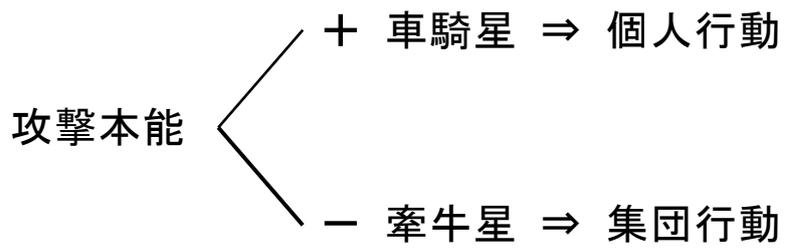
1人で行動しているときには、自分の好きに動けますから、主体性が十分出せるはずです。

集団行動しているときに、自分勝手なことはできません。

主体性をだせないはずです。

参考：行動〔あることを行うこと〕

そうしますと、車騎星と牽牛星の違いは ➡



〔車騎星は個人行動の星〕

〔牽牛星は集団行動の星〕 と考えてください。

☞ 車騎星から話を進めます。

☆ 車騎星

しやきせい
車騎星 ⇒ 攻撃（陽）

車騎星は個人行動の星です。

個人行動

行動の星（陽）ですから、1人で行動したほうが、自分の主体性を発揮できます。

自分の主体性を発揮 ⇒ 自分の意志で行動する

人に言われてやるのではなくて、仕事でも、趣味でも、遊びでも、自分の意志で行動しようとする星です。

何事も自分の意志でうごきたい、そういう本能を備えています。

集団行動を出来ないわけではありませんが、集団行動は自分の意志で行動できないことが多くなります。

それは苦手です。個人行動が得意です。

個人行動が得意

車騎星は攻撃の星で行動の陽星です。

“前進力”があります。

一言でいえば ⇒ 行動力

車騎星は『行動力の星』ともいわれます。

✽ 田中 真紀子 1944(S19)-1-14

彼女の場合は十大主星の初元が人体図にでます

	丁	乙	癸		車騎星	天南星		8 丙寅
申	丑	丑	未		車騎星	車騎星	貫索星	18 丁卯
酉	癸	癸	丁		天庫星	龍高星	天庫星	28 戊辰
	辛	辛	乙					38 己巳
	己	己	己					48 庚午
								58 辛未
								68 壬申
								78 癸酉

田中真紀子さんのように、主星の場所に車騎星がある人、あるいは、車騎星が複数ある人は、思い立ったら、すぐにでも行動に移したい。という質をもっています。

なにかをやりたいとおもえば、すぐ行動に移さなければイヤだ——そのような性格の人になります。

思い立ったら、すぐに行動に移そうとする。



じっとしているのは^{にがて}苦手。

思い立って、パッと行動に移せるということは、決断力があるからともいえます。

決断力 ⇒ 行動

決断力がなければ、これをやろうと思っても、「でも……止めようかな、どうしようかな」と考えてしまい、即決できず行動に移せないわけです。

車騎星は、これをする、しない、パッと決められます。

すぐに行動に移せるのは決断力があるからです。

これはやる、これはやらない、きちっと、さっと決めてしまう質をもちます。

決断力があることは“好き嫌い”もハッキリしているといえます。

好き嫌いがハッキリしている

あの人好き、この人は嫌い、というように、対人関係もそうですし、物事に対しても白黒をハッキリとつける人といえます。

⇒ ここまでは“行動”という意味でご説明しましたが、つぎに“攻撃”ということで考えてみます。

車騎星は攻撃本能の陽星ようせいです。

“相手を攻撃しない”という人物はいません。

生れてから死ぬまで、相手に文句をいったこともないし、喧嘩したこともない、そういう人はいないはずです。

“相手を攻撃する”というのは、なぜでしょう……？

自分が負けたくないからです。

相手に勝ちたいからです。

相手のほうが間違っていると思えば、相手を批判したり、攻撃したりしますが、特にそれが自分の気に入らない相手だとすれば、その攻撃はより激しいものになったりもします。人間は「本能的に相手に負けたくない」という意識を内在しています。それゆえ、“人と争う”ことにもつながるわけです。それは攻撃本能がなす業わざです。

車騎星は攻撃の陽星ようせいですから、他人ひとに負けたくない。という性質が特に強い星です。

負けず嫌い

車騎星の大きな特徴です。

行動力があるのも、前進力があるのも、負けず嫌いだからです。他人ひとに後れおくを取りたくないわけです。

この資質は何事に対してもいえます。

自分の目標はこれだ——そのような存念があれば、そのことに関しては、特に負けたくないわけです。

参考：存念 [いつも心に思うこと]

自分の意志で行動しようとするのも、負けず嫌いだからです。

人の言いなりに動きたくないので、必然的に自分の意志で行動するようになります。

行動力があるのは、負けず嫌いだからです。

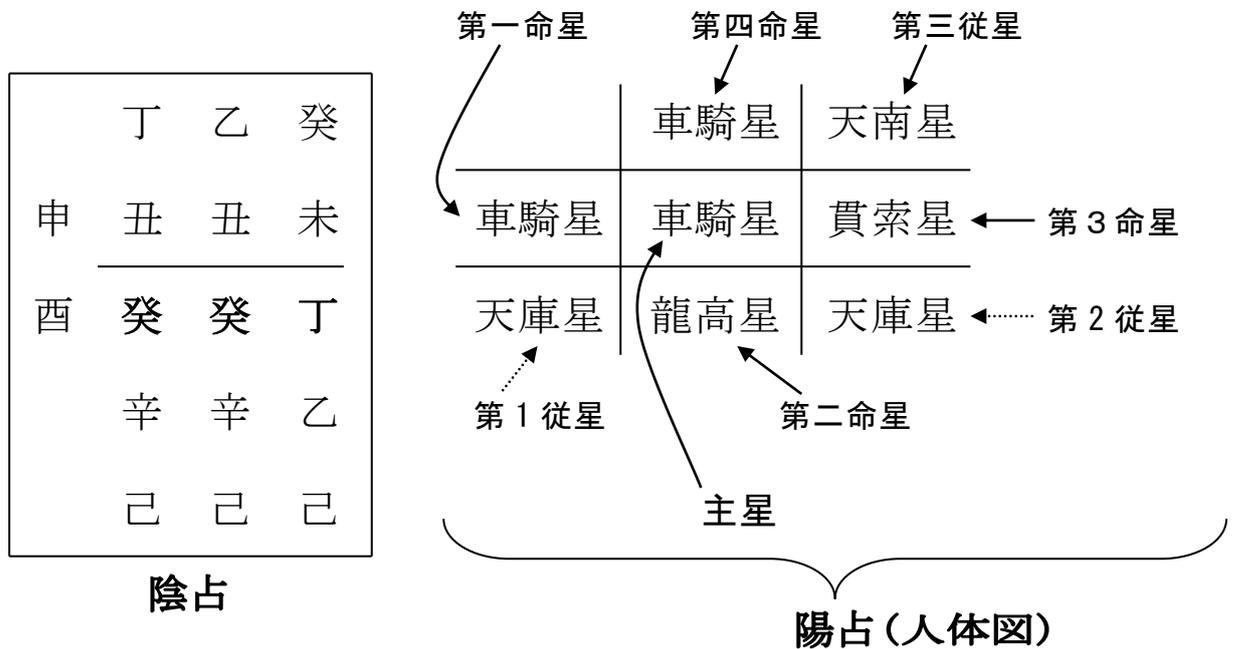
車騎星は働き者になります。

働き者になる

ひと 他人に負けたくないと思えば、ふつうの人よりもにんたい 忍耐して努力するはずです。 参考：忍耐 [たえしのぶこと]

そういう気質をもっていますから車騎星は働き者です。相手に勝ちたい、負けまいとする気持ちが強いので怒らせると乱暴です。いつも怒ってあらあら 荒々しい (乱暴) という事ではないのですが、気が強い星です。

＊ 田中 真紀子 1944(S19)-1-14 十大主星は初元の蔵干が人体図にでる



※ 陽占といえば人体図のことです。

田中真紀子さんの主星は車騎星です。

人体図には十大主星が五つ、十二大従星が3つ出ます。

人体図に攻撃本能の車騎星 (濁星) が三つもあります。

残りの〔龍高星〕〔貫索星〕も（濁星）^{だくせい}ですから、どうしても攻撃的な言動の人になってゆくわけです。

このような人は、負けず嫌いで、気が強くて、怒らせると乱暴になります。といえるわけです。

⇒ 車騎星の人物が気弱^{きよわ}になるとすれば、どういうときでしょう？

それは病気になったときです。

車騎星は攻撃本能の星、行動の星ですから、行動力を出せなくなると、自分の武器を使えないのとおなじです。

病気で体が弱ってうごけない。攻撃・行動を^{はつき}発揮できない状態になると、車騎星は特に気が弱くなります。

普通は気が強い星ですけど、病気になると気弱になります。車騎星をこちらの不都合にならない状態へうごかそうとおもうのであれば、病気のときは狙いどころです。

参考：発揮〔もっている力や特性を十分に外へ表しだすこと〕

⇒ 「人体図に車騎星がいくつもあります」といっても、その車騎星が〔立派な車騎星なのか〕〔ダメな車騎星なのか〕という分岐点（^{ぶんきてん}分かれ目）があります。

車騎星は攻撃本能の陽星（^{ようせい}ようせい）ですから“誰かと戦う”という星です。

攻撃する ⇒ 誰かと戦う／相手と競い合う

算命学は、「宿命どおりに生きなさい」という言い方をしますけど、車騎星が宿命通りに生きようとするのであれば、攻撃本能をきちんと発揮することです。

誰かと戦う、競い合うことで、攻撃本能が鍛えられます。星を鍛えるには、小さい頃・子供の頃から、人と競い合うことを経験させるとよいのです。

車騎星の特性は行動力ですから、どの分野に進んでも、人一倍頑張って、人一倍働き者であれば伸びてゆきます。伸びるという意味は〔運勢的にも伸びる〕という意味と〔人間的にも伸びる〕という意味が含まれています。

一般的にスポーツ選手はさわやかな人が多いでしょう。
格闘技の選手だからといって「他人と喧嘩をするのが好きだ」という人物ばかりではないでしょう。

車騎星がスポーツ・格闘技の世界で、攻撃本能を消化していれば、人間的にも人格の高い人になってゆきます。
つまり「攻撃をしてよいときには攻撃する、攻撃をすべきではないときは攻撃しない」というように、攻撃本能をすばやくコントロールできるような人物になります。

車騎星が主星とか、人体図に車騎星がいくつもあるのに、人と競い合うようなことを、子供の頃から経験していないと、攻撃本能を活かしていないことになります。
攻撃本能を発揮する経験を積んでいないと「なんで攻撃するのかわからないことに」攻撃を仕掛ける人になってしまいます。

攻撃本能を使っていないからといって、攻撃本能自体が無くなるわけではありません。

攻撃本能の星があるのに使わないと、攻撃本能が未消化になり、未消化になると厄介な問題を引き起こします。

まったく攻撃本能をつかっていない（活かしていない）場合は——何かというと人に文句をつける、人の悪口ばかりをいうとか、そのような人間になってしまいます。

子供の頃から、人と競い合うことを経験させることで、車騎星は人間的にも成長します。

攻撃本能を消化していれば、攻撃本能が満たされますから、攻撃する必要のないときに、他人を攻撃するような人物にはならないのです。 参考：活かす〔能力を十分に発揮する〕

〔たとえば〕食物がきちんと消化されていれば嘔吐して、他人に不快なおもいをさせることはないです。たとえご夫婦であっても嘔吐の後始末をするのは気持ちのよいものではないはずです。

⇒ 車騎星が主星の子が生まれたとか、車騎星がいくつもある子が生まれたら、なるべく子供の頃から、運動でも勉強でも、音楽とか、絵とか、何でもよろしいです。

何か目標を与えて、絶対にあの子には負けたくないとか、クラスで1番になるために忍耐して努力するとか、そのような事柄で、人と競い合う・戦い合うとか、積極的に行動することを経験させると、車騎星が消化されます。

そのことによって、性格的にもしっかりした子供に成長しますし、運勢的にも伸びて行きます。

せっかく攻撃本能をもっているのに、攻撃本能を発揮しないで育ってしまうと宿命からはずれてしまい、車騎星は輝きを失って、星は生きることなく腐ります。

☞ 女の子はどうでしょう。

車騎星がいくつもある女の子が生まれたとします。

女の子だからといって、おしとやかに、箱入り娘で育ててしまうと、ダメな車騎星の女の子になっていきます。

つまり、車騎星の気の強さが、ただの我が儘になってしまうのです。

小さい頃から、なんでもよいのです。

なにかで競わせるという経験をしてゆくことによって、星が鍛えられて、人間的にも立派な人に育っていきます。

車騎星の攻撃本能を鍛えるのです。

〔立派な車騎星になるのか〕〔ダメな車騎星になるのか〕

その分かれ目です。

参考：鍛える〔練習や修練を重ねて、自分の身心を強くしっかりしたものにする〕

〔たとえば〕 **宿命（女の子）** が生まれたとします。

女の子は 2025 年で〔4 歳〕になりました。

	車騎星	天南星
車騎星	石門星	車騎星
天庫星	鳳閣星	天将星

車騎星が 3 星あって、最身強（さいみきょう）です。

最身強については ⇒ 「^{みきょう}身強・^{みちゆう}身中・^{みじゃく}身弱」でまなびます。

もしも——この女の子を甘やかして育てると、育たないのです。

“育たない” という意味は、普通の社会人になれないということです。

^{じつ}実のご両親に〔できるのか〕〔できないのか〕わかりませんが、生まれてまだ物心が付かないうちに、普通の子の 2 倍も、3 倍も^{きび}厳しく育てることが要求されます。

ご両親にとっては、非常に難しいことであり、^{かこく}過酷といえますが……そのような育て方をするすることで、女の子の人生が決まるといっても過言ではないのです。

それってどういうこと？……算命学の勉強でご理解できます。

算命学の勉強でご理解できますが、頭では理解できたとしても、いざ我が子を厳しく育てるのは、とてとても難しいです。

親子とも涙ぐましい努力が必要ですけど、それができた
あかつき にもも けっじつ ごと じつ みごと
暁には、桃が大きくふっくらと結実した如く、実に見事に育ちます。
参考・暁〔ある事柄が実現したそのとき〕

⇒ 車騎星の質からして、職業、仕事ということでは：

行動力を必要とする仕事

あるいは何かと戦う、競い合う、そういうことを必要とする世界に向きます。

人と競い合う仕事

サラリーマンでも、ライバルの会社と競い合わなくてはいけない。そのような状況に置かれると、車騎星の人は強いです。

あるいは、それが特定の^{たいしょう}対象でなくてもよいのです。

〔たとえば〕子供なら、クラスで一番になるとか、そういう目標を^{こころざ}志してもよいのです。

大人であればここまでは出世したい。

この課で一番になる。

なにか目標を設定して戦っていくのが車騎星です。

その生き方は向いています。そのほうが伸びていきます。

“なにかと戦う”ということでは、スポーツ界などは“競い合う”その典型です。

スポーツ選手は、必ず、対戦相手と戦います。

相手に勝たなければ、成功しない世界です。

昔から車騎星を『軍人の星』ともいいますが、軍人にも向いています。

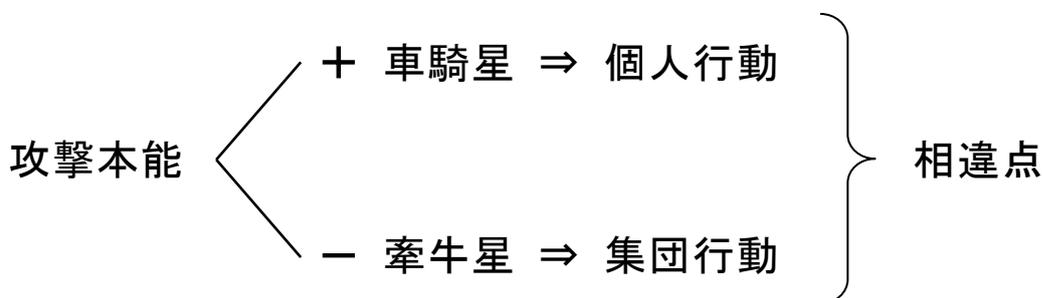
☞ 女性で車騎星をもっているとすれば……。

攻撃の陽星なので男性的な星なのですが、女性で車騎星を人体図にもっていると、男性的な仕事にも向いています。車が好きなら大きなダンプカーを運転するとか、

ビル建設に欠かせないクレーンを操作そうさするとかです。

男が従事するような仕事、男社会のなかに出て行くとか、スポーツ界にも向いています。

⇒ 「車騎星」と「牽牛星」を順番に考えます。



車騎星は個人行動・牽牛星は集団行動の星という違いがあっても、どちらも行動の星です。

人間が^{おこな}行う生涯の行動のなかで、おそらく最もたくさんやる行動はなにかといえば仕事でしょう。

参考：行動〔人が目的をもって意志的に体を動かすとか、他にはたらきかけること〕

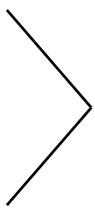
〔たとえば〕「女性で仕事をしていません。私は専業主婦です」といっても、主婦として頭をつかう、体をつかうことはたくさんあります。それも仕事です。

仕事よりも趣味でついやす時間のほうが長いという人もおられるでしょうが、普通は趣味よりも、生活を維持する仕事についやす時間のほうが多いはずです。

フルに一日 8 時間働いて、8 時間以上も別な事をやっているとか……ふつうは無いでしょう。

社会人といえる年齢の人物が意志的に身体をうごかして、物事を行う、なにか行動するなかで、一番主たる行動は仕事といえるでしょう。

車騎星
牽牛星



『仕事の星』といわれています。

仕事運を占うときには〔車騎星〕〔牽牛星〕をつかって、観ていくようになります。

「仕事をはじめたいのですが、どうでしょうか？」と、訊かれたら、その人物の人体図にある〔車騎・牽牛〕のところに焦点を当てて、「今年ならいい年ですよ」とか、「今年は新しい仕事をはじめるのはお勧めできません」とか……そういうふうに観ていくようになります。

そこにはお客様から「どのような仕事がよいのか？」という適職に関するご質問もあるでしょう。

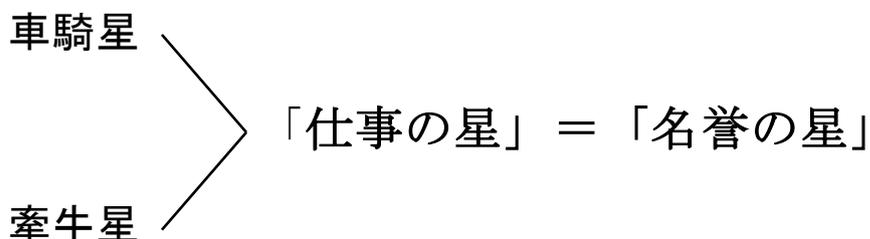
☞ そしてさらに……つぎのような考え方をしています。
一人の人物が仕事をもつと、本人の意志に関わらず、その人物の仕事が、その人の“社会的地位“をあらわすようになります。

参考：意志〔目的のはっきりした考え〕

〔たとえば〕「どんなお仕事していますか」と訊かれて、「私は何々会社で〇〇部門の課長をやっています」と、応えれば、『何々会社の課長』ということが、社会的地位を意味しますから、それは名誉に相当します。

「私は〇〇学校で校長です」といえば、その人の社会的地位であり名誉です。

本人の意思に関係なく、どういう仕事をしているのかということが、その人物の名誉とか地位になります。



それゆえ〔車騎星〕〔牽牛星〕は「仕事の星・名誉の星」といわれています。

その人物にとっては、仕事＝名誉となりやすく、仕事は人間の行動の代表的なものです。

〔禄存星〕〔司禄星〕は「財の星」といわれています。

算命学で『財運』と『名誉運』これらは異なる運です。

〔たとえば〕「会社で出世できるかどうか？」を訊かれたときは、財運ではなくて、名誉運で占います。

会社で出世は、会社内で地位が高くなるということです。

名誉が高くなることを意味します。

それは『名誉運』で占います。

場合によっては……「今年の名誉運はすごくいいのに、財運は悪いです」そのように出ることもあります。

出世したけど、財産で損をする。そういうこともあり得るわけです。

反対に「出世はしないでしょうけど、財運は上昇です」

ということもあり得ます。

財運と名誉運はおなじものではないのです。

合致するものではありません。

参考：あり得る〔ある可能性がある。可能性として考えられる〕

☞ 車騎星を人物でいいます。

〔偏夫 へんぷ〕 の星といわれます。

偏夫は〔夫以外の男性〕を意味します。

人体図に〔車騎星〕がいくつもある女性は、男性の星がいくつもあることになります。

人生を通して男性との縁えんが多くなるといえます。

その意味で男性関係が多くなる可能性も出てきますし、そういう傾向があります。

だからといって“必ずそうなる”とはいえません。

なぜなら、車騎星は仕事の星という意味がありますから、仕事上で男性との付き合いかも知れないし、ただの友達かも知れないわけです。

このことは——宿命を深く観ていかないとわからないのです。

そうはいっても、男性との縁えにしがあるという意味をもっていますから、車騎星がいくつもある女性は、男性関係が多くなる可能性は潜在（内にひそむ）しています。

よくいえばモテる女性です。男の人にモテるというのは、男が寄って来るわけです。男が寄ってきて、それを受け入れるのかどうかは本人次第です。

参考：もてる〔人に好意をもたれる。ちやほやされる〕

原則として〔車騎星〕は、女性にとっての^{かれし}彼氏を意味します。

車騎星は女性にとって彼氏。

☞ 車騎星の思考法：

思考法 ⇒ 行動思考〔行動しながら考える〕

行動思考とも呼ばれていますが、うごきながら考える星です。

なにかあれこれ頭を働かせて判断するときでも、実際に行動に移すほうがよい知恵が浮かんできます。

そういうタイプの人物ですから、その物事をやるとか、やらないとかをじっくり考えているよりも、すみやかに物事を実際に行う。

計画を実地に移すほうがよい知恵が浮かびます。

あれこれ机の前で考えていても、実りある知恵も浮かばないし、考えもまとまらないのです。

これは車騎星の人の特性です。

〔たとえば〕車騎星が主星だとか、人体図に車騎星がいくつもあるお子さんに勉強をさせようと思うのであれば、「文武二道^{ぶんぶにどう}」というように、運動もさせたほうが知恵も伸びていきます。

勉強だけをやらせても、あまり伸びないのです。

毎日机に座って勉強しているだけでは、星が光り輝かなくなりません。

せつかく行動力をもっているのですから、そのチカラをつかったほうが知恵も成長します。

参考：伸びる〔成長する〕〔心の働きがのびのびする〕〔程度が増した状態になる〕

参考：成長〔内容が成熟すること〕

ここでは攻撃本能〔車騎星〕の基本についての学びでした。

👉 つぎは、攻撃本能の陰星〔牽牛星〕です。

☆ 牽牛星

けんぎゅうせい
牽牛星 ⇒ 攻撃（陰）

牽牛星は攻撃本能の陰星^{いんせい}です。

陰の行動は自分の主体性をあまり出さない行動ですから
集団行動の星です。

集団行動

参考：得意〔自分の気持ちにかなうこと。またその結果に満足すること〕

牽牛星は集団行動を得意とする星ですから、集団行動に
すぐれた質をもちます。

集団行動を得意ということは、どのような性格の人でしょう？

集団行動するためには、どういう性格が必要でしょう？

集団においては、自分勝手な行動をしてしまうと、全体の
規律が乱れてしまいますから、まわりに気遣いをする
必要があります。自分勝手な行動をしないということが
大切です。その集団に規則があるとすれば、その約束事
をきちんと守れる人物でなければ、集団行動はできない
はずです。

そうしますと、牽牛星は規則・約束を守る人です。

規則や約束を守る

組織に決まり事があれば、きちんと守ろうとします。

集団行動ではなくても、他人と約束した物事をきちんと守ろうとします。

それゆえ、規則を乱そうとする人を嫌います。

〔たとえば〕「どこの場所で、何時に待ち合わせた」と、いうことであれば、その時間を守らなければ、それだけで集団行動は乱れてしまいますから、本人は約束を守ろうとする人物になります。

もちろん——よんどころない事情がある場合は、仕方がないので、規則や約束を性格的にきちんと守ろうとする人です。

集団行動が得意だということは、責任感が強い人です。自分に与えられた仕事および役割の責任を果さなければ、その組織全体に迷惑がかかってしまいます。

規則とか約束を守って与えられた役割をきちんと果そうとしますので、責任感の強い人にもなってくるわけです。

責任感が強い

一言でいえば、真面目な人です。



真面目

牽牛星は真面目な性格と考えておけばよいでしょう。

☞ 車騎星と比較します。

車騎星は攻撃本能の陽星、個人行動の星で『武官ぶかんの星』といわれています。

牽牛星は真面目な星で『文官ぶんかんの星』といわれています。

車騎星 ⇒ 軍人の星

牽牛星 ⇒ 役人の星

職業でいえば、牽牛星は役人に向いている星です。

地方の役人でも、省庁の官僚でもよいのです。

規則や約束をきちんと守れて、責任感が強い人物ほど、役人に向いているはずです。

日本における最近の役人は、本来の牽牛星の質を持ち合わせていない人物・役人が増えているようにおもえます。

牽牛星の質をもつ性格の人が、役人になってくれば、その役所の仕事はきちんとまわるはずですし、国民の頼りになるはずです。本来の質は役人に向いています。

一般的に「^{かた}堅い仕事に向いている」と考えればよろしいです。

〔たとえば〕サラリーマンであれば、銀行員とか、あるいは会社のなかでは経理とかです。

どちらかといえば、堅い分野に向いています。

真面目でしっかり仕事をしてくれる質をもちますから、それに向く部署ならよいですね。

実際には——人体図に牽牛星がある人物が役人になるとは決まっていませんし、堅い仕事に就くとも決まっていませんが、基本的に真面目な性格ですから、堅い仕事に向いています。ということになります。

真面目にきちんと約束を守れる人でなければ、集団行動はできません。

それゆえ、“真面目な人” ここが一番の基本です。

牽牛星については、このように考えるわけです。

☞ そうしますと、牽牛星の人は“柔らかい仕事”には、向かないのですか？ ということになります。

極端に言えば、ヤクザには向かないのでしょうか？

人体図に牽牛星をもつ人物が、もしヤクザになったとしたら、どのようなヤクザになるとおもいますか？

牽牛星の人がヤクザになると、恐い無法者になります。

なぜでしょう！！

牽牛星は真面目です。ヤクザになるとすれば、ヤクザらしいヤクザになろうとします。

集団の決め事、規則・約束を守ろうとする質をもっていますから、組の約束事とか、親分から命令されたことを、確実に実行しようとしています。

牽牛星の人がヤクザになると、親分が黒といえ、本来は白であっても、親分に従って黒になります。

その本質が真面目ですから、その人物が置かれた立場・状況のなかにおいて“真面目さ”を出そうとします。

☞ 2001 年 6 月 8 日に国立池田小学校へ乱入して児童 8 人を殺害した〔宅間守殺人犯〕は、大物ヤクザになれるチャンスがありました。このことは牽牛星の話ではないですよ。

＊ 宅間 守 1963 (S38)-11-23

大運 6 歳運

庚	癸	癸	調舒星	天報星	6 壬戌
戊	午	亥	玉堂星	鳳閣星	16 辛酉
亥		卯	天恍星	調舒星	26 庚申
己	甲				36 己未
丁	壬	乙			46 戊午

陰占の十干から、陽占人体図に十大主星が出ているわけですが、宅間の人体図には〔車騎星〕も〔牽牛星〕も無いです。

陰占での観方ですが、とても知能が高いです。

学者として精神分野の職業に向いていますが、その星を活かすことはく殺人犯になりました。

自分にとって大切な星の命を生かせないと星は腐ります。

国立池田小学校へ乱入し、児童 8 人を刺し殺しました。

☞ 話をもどします。

女性で人体図に牽牛星をもつ人物がホステスになると、その店にふさわしいホステスになろうとします。

お店のマネージャーに、こんなサービスをお客様にしなさいといわれたら、きちんとそれを果そうとようになります。生^き真^ま面^じ目^めにお店の方針に従うわけです。

牽牛星は、役人とか、堅い仕事に向きます。このことは一般論では確かにそうなのですが、その人物が育った環境とか、生い立ちとかによって異なってしまいましたが、本質的に、職場なら職場の環境にふさわしい人間になろうとする質をもっています。

そういう“真面目さ”と考えておいて頂きたいのです。

ヤクザになったら、ヤクザらしいヤクザになろうとする。

ホステスだったら、ホステスらしいホステスになろうとする

つまり、置かれた環境にふさわしい人間になろうとします。

〔たとえば〕その人物の生れた家が商売をやっていて、小さい頃から親の商売を手伝い、親からも将来は跡を継^つ

いで欲しいといわれているとすれば、その商売にふさわしい商売人になろうとします。そういう星です。

☞ 十大主星というのは、この星はよい星だとか、この星はよくない星だとか、よい性格の星とか、悪い性格の星とか、そういう意味は一切ないのです。

牽牛星は真面目な星といっています。だからといって、悪い事をしない人物——そのように思っははいけません。そのおもい・考えは間違いです。

牽牛星の人がドロボーになるとすれば、腕のたつ泥棒になろうとするでしょう。

立派な泥棒になろうとします。

牽牛星の人が真面目だという意味は、本質の性格が真面目ですから、真面目だと言っているのもあって、牽牛星の人物が真人間まにんげんだという意味ではないのです。

本来の質は真面目ですから、まともな人物になる場合のほうが多いわけですが、育った環境によって異なります。これは仕方ないのです。

その環境に相応^{ふさわ}しい人間になろうとします。

〔たとえば〕 会社組織の体制に従おうとするわけです。

体制に従う

そのように考えておいてください。

それでヤクザのたとえを出したのです。

親分が黒といえ、たとえ白であっても黒なのです。

団体などの組織の仕組みに従う真面目さがあるわけです。

⇒ 集団行動が得意な星ですが、人間の人生で考えますと、自分にとっての一番身近な集団は家族ですから、家族で行動することは得意といえます。

参考：得意〔自分の気持ちにかなうこと。またその結果に満足すること〕

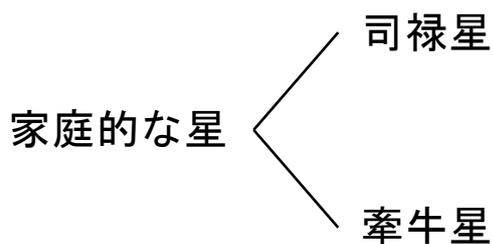
最も身近な集団は家族



家庭的

それゆえ、牽牛星には家庭的という特徴があります。

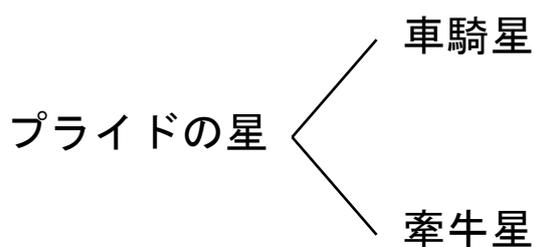
家庭的ということでは、司禄星も家庭的な星でした。



十大主星のなかで家庭的な星といいますと〔司禄星〕と〔牽牛星〕の2星を指^さします。

参考：指す〔それとはっきり定める〕〔人や物事を、それと決めて示す〕

⇒ 車騎星と牽牛星には『名誉の星』という意義がありましたが、性格的には『自尊心の星』という意義もあります。



車騎星も、牽牛星も、どちらもプライドの高い星です。

⇒ 魅力本能のところ、禄存星は親切でやさしい星です。と学びましたが、なぜ禄存星が親切で優しいのかといえば“相手から好かれない”という本能をもっているか

らです。禄存星がもつ（陽）の本能が行動するのです。
それとおなじように、牽牛星は真面目で責任感も強い、
規則を守るという星です。

なぜ真面目なのかといえば“プライドが高い”という質
があるからです。

じそんしん ほこ
自尊心・誇り高い星なので、自分に与えられた責任を果
さなければ、自分のプライドが満足しないのです。

裏を返せば〔あの人は規則や約束を守らないよ〕そんな
いい加減な人間だとおもわれたくないのです。

プライド〔自尊心・気ぐらい〕が高いので、真面目で責任感
も強い人になります。という意味が根底にあります。

☞ 車騎星は陽の攻撃本能です。

牽牛星は陰の攻撃本能です。

攻撃本能はおなじで、両者ともプライドが高い星です。

車騎星は（陽）なので“直接行動”にでます。

〔たとえば〕負けず嫌いでプライドが高くて、人に負け
たくないという思いから、頑張ろうとする行動力の星と
いいました。

牽牛星は（陰）の攻撃本能です。

プライドは高いのですが、直接的な行動にでない質をもちますから見えにくいのです。

プライドの高さが表面には出にくい。

牽牛星も車騎星のように、人に負けたくないとおもっていても、直接その方向へ傾いて行動しません。

しかし、^{ほこ}誇り高い性質を内在しています。

〔たとえば〕牽牛星も相手に負けたくないという^{きぐらい}気位は車騎星とおなじで、ほかの十大主星よりも高いのですが、^も耐え^{こた}忍んで持ち堪えます。その状態を持続します。車騎星のように直情ではないのです。

しぶとい・ねばり強い



最終的に目的を達しようとする

そういう人になっていきます。

参考：しぶとい [がまん強くてへこたれない]

直接的に自尊心の高さ、気位の高さを出さないのですが、自分の誇り^{ほこ}を満足させるために、目的なり役割などが困難であっても、なんとかして達成しようとします。すぐに目的を達せないけど、遠回りしても最終的に目的を成しとげて、自分が勝ちたいという本能を発揮します。困難に負けない強い側面を備えた星でもあるのです。

☞ 人物は夫の星です。

人物 ⇒ 夫

夫の星と考えておいてください。

家庭的な星は〔司禄星〕と〔牽牛星〕の2つですけど、司禄星は人物で妻の星です。

牽牛星は人物で夫の星です。

なぜ——妻と夫というように、意味がわかるのかとい
いますと法則がありまして、それに当て嵌^はめてゆくと、
こちらは妻の星で、こちらは夫の星になるという理論が
あります。いずれ勉強します。

そのときにご説明します。

〔司禄星は妻の星〕〔牽牛星は夫の星〕どちらも結婚運を占うときには、この2つの星をつかって観ていくようになります。

結婚運がおもわしくない宿命とか、結婚運がよい宿命とかを判断するときに、司禄星と牽牛星をつかいます。

⇒ 牽牛星の人の思考法は、^{たいせいしこう}体制思考とよばれています。

思考法 ⇒ 体制思考

真面目な星で体制に従う星なので、常識的な考え方をする人です。

多数決には逆らわない。

集団行動の星であり、体制に従う星です。

本質的にそういう性質を備えている星ですから、牽牛星の人物〔特に主星が牽牛星〕に、なにかに従ってもらおうとするのであれば、「みんなで決めました」という言葉は、一番効果的でしょう。「みんなそういう意見ですから」といえば、たとえ不満であっても“仕方ない”とおもうのです。その体制に^{たいせい}準^{じゅん}ずる星です。

参考：準ずる〔あるものを基準として、それにならうこと〕

あるいは、自身の損得とかより、集団全体を考えて物事を決める質があります。

集団全体を考えて物事を決める ⇒ 体制を重んじる。

ともいえます。

体制を重んじるということは、少数派を重んじないということにもなります。

大を生かし、小を殺すという考え方。

多数決には逆らわないタイプです。

このような思考回路をもっている星と考えています。

“真面目な星”です。そのように^{たびたび}度々いっています。

〔体制のほうを重視する〕 〔反体制を重視しない〕

〔大を生かして小を犠牲にする〕という考え方を備えています。

時には目的のためには、手段を選ばずという質を出す。

大きい目的のためには、小さい事を犠牲にしても仕方がない。「目的のためは手段を選ばない」という内面を出すことがあります。そういう考え方のできるのです。

それが牽牛星の質でもあるのです。

そのことが——〔よいことなのか〕〔^あ悪しきことなのか〕
別のことです。

攻撃本能〔牽牛星〕の基本についての学びでした。

【初年】 3 2 回目【十大主星特性④】 終わります

つぎの授業 ⇒ 【初年】 3 3 回目【十大主星特性⑤】 習得本能の星